

企業と生物多様性セミナー
生物多様性ちば企業ネットワーク

地域における企業と生物多様性に関する考察



2013/2/21
川廷 昌弘

1963 兵庫県芦屋市生まれ
1986 博報堂入社
1998 「情熱大陸」ほか番組コンテンツを多数立ち上げ
2006 「チーム・マイナス6%」メディアコンテンツ統括
2008 博報堂DYメディアパートナーズ環境コミュニケーション部長
2012 博報堂広報室CSRグループ部長

【国際】

国際自然保護連合 教育コミュニケーション委員会 メンバー

【国内】

一般社団法人CEPAジャパン代表

公益社団法人日本写真家協会(JPS)会員

国連生物多様性の10年日本委員会 企画運営メンバー

生物多様性と子どもの森実行委員会 委員長

REDD推進体制緊急整備事業運営委員会 委員

千葉県企業と生物多様性検討委員会アドバイザー

横浜市bアップ会議アドバイザー

藤沢市地球温暖化対策地域協議会 副会長

「COP10の成果」から具体的な行動へ



- 1、CEPA決議でNGO発言を実現し決議修正
- 2、先住民族と地域共同体との共同声明

一般社団法人CEPAジャパン 2011年5月設立

WELCOME CEPA JAPAN

CEPA JAPANは、生物多様性をもっと身近に感じてもらうために、「広報・教育・普及啓発(CEPA)」に関する情報共有・そして推進の場として設立されました。

本来私たちの身边にある、生物多様性。そこにみんなが気付いた時、地球の未来は、もっと豊かで明るいものになると信じています。

CEPA INFORMATION

2011/10/04
» 桜井太郎のセパリスト～もっと身近に、生物多様性。～第3回

2011/10/04
» 【緊急】リオ+20に向けたインプット修正案への意見
2011/10/01
» リオ+20に向けたインプット案への緊急提言

cepalapan これもCEPAですね！ RT @JCNUNB おはよ30maru との会商企画！COP10から1年！ Twitter 特別企画「つなげる・生物多様性 COP10から未来へ」あれから1年。つなげてつながりましょう。詳しくはコチラ <http://t.co/LM4csD42>

Join the conversation



Communication
Education
Public Awareness

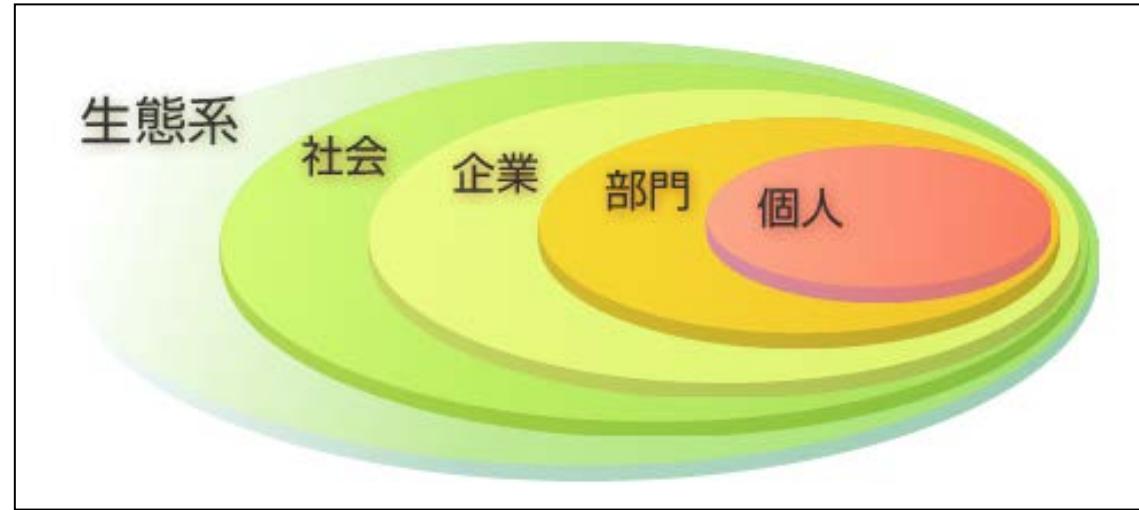
目的:暮らしと国際条約をつなぐ

環境コミュニケーションの
国内スペシャリストが集う組織

Green TV Japan
Think the Earth
地球サミット2012 Japan

自然観察指導員
環境教育指導者
動物園、水族館学芸員
有識者、学識経験者

企業は個人の集積



「CSR入門」岡本亨二著より

企業に入っても、
個人はあくまでも生態系の中にある
という認識が今こそ大切ですね

創造力(クリエイティブ)は体験

水道の蛇口から出てくる水の故郷の風景

食卓に並んだ命が生きていた風景

機械の中にある地球の資源があった風景

子どもの頃の自然体験が生きる

グローバル経済における社会的責任

- 1.資源の枯渇
- 2.森林の破壊・伐採(最大輸入国:日本)
- 3.水資源の問題(バーチャルウォーターの責任)
- 4.レア・メタルの採掘(生物多様性の消滅/資源調達)
- 5.フードマイレージの増加(食料自給率のリスク)
- 6.ピークオイルへの対応(エネルギー自給率のリスク)
- 7.リオ宣言に基づく人権問題解決(国際条約の踏襲)
- 8.暮らしと国際条約を繋ぐコミュニケーションデザイン



■ゴールは持続可能な社会の仕組みづくり

1972年 ストックホルム 国連人間環境会議

背景 公害問題(大気、土壤、水質、海洋汚染)の深刻化、
人口問題と資源制約の警鐘 ローマクラブ「成長の限界」

「かけがえのない地球」Only One Earth

人間環境宣言、環境国際行動計画採択、国連環境計画(UNEP)創設

1992年 リオデジャネイロ 環境と開発のための国連会議

背景 冷戦構造の終焉、
地球環境問題の深刻化(温暖化、オゾン層、酸性雨)

「持続可能な開発」Sustainable Development

環境と開発に関するリオ宣言、アジェンダ21採択

気候変動枠組条約、生物多様性条約署名開始

砂漠化対処条約交渉開始、森林原則声明採択

2002年 ヨハネスブルグ 持続可能な開発に関する首脳会議

背景 グローバル化とその弊害(貧困、格差拡大、児童労働、感染症)
世界同時多発テロ

持続可能な発展の3つの柱=環境、経済、社会の統合的発展

「持続可能な開発のための教育の10年(ESD)」



2012年 リオ+20

賛否両論の閉幕

→191の国と地域、45,000人の市民参加
国連最大規模の会議

→成果文書「The Future We Want」を採択
実効性ある成果はなく、
具体的な目標、施策は今後議論で合意

→先進国、途上国、新興国、、、
単なる南北間の議論ではなく、
経済発展に伴い勢力図の変化が顕在化

→日本は環境防災で
今後3年に計60億ドルのODA



もう待ったなし！

COP10配布ツール(環境省)

生態系からの恵み(生態系サービス)に、私たちの豊かな暮らしは支えられています

Our life of affluence is supported by the benefits derived from ecosystem services (ecosystem services).

供給サービス Supplying Services

食糧・水・繊維・燃料、遺伝子資源など
Food, water, fiber, fuel, genetic resources

文化的サービス Cultural Services

美術、美術などの文化への貢献、精神的・精神的価値の付与など
Natural advances in the culture such as art, giving spiritual and material value

調整サービス Adjusting Services

気候、水、水質などの調節、在野の植物、病原や寄生虫の抑制など
Climate, food, water regulation, pest management, control of diseases

基盤サービス Infrastructure Services

土壤の形成、地下水、蓄積貯留など
Soil formation, groundwater storage, infiltration, percolation, retention of nutrients

Tipping Point (転換点)

生物多様性は「転換点」を超えると、劇的な喪失が生じ、蘇復が不可能になります。今後10～20年の生物多様性の健全な状態における転換点、「転換点」を超えてはいけないとの警鐘です。(COP10)
It is reached a "tipping point", we will suffer a fast loss and biodiversity will become不可回復の条件。Future effects within the next decade or two toward conservation and recovery of biodiversity will be slow to prevent us from exceeding the tipping point. (COP10)



「転換点」を超える前に、アクションを!

Take action now before we reach a "tipping point".



ロシア森林の樹木に生息するアムールトラ
*Panthera tigris altaica*は、その生息数はわずか400頭と推定されています。

It is estimated that only 400 Siberian tigers (*Panthera tigris altaica*) are alive in the eastern forests of Russia.

Wikimedia Commons Image Collection



日本最後のホウドリ (*Nipponia nippon*)、カン
日本ホウドリが既に絶滅した (*Nipponia
Nippon*)、*Xia*

人類に求められる 3つのアクション

3 desired actions
for all mankind

危機的な 現状認識の共有 Sharing knowledge of extreme critical situations

生物多様性からの警戒を、今後も享受するこしができるかどうかは、これから10年間の警鐘にかかるべきとの認識を共有する。
It depends on sharing recognition how we will take care in the next decade if we can receive the benefits derived from biodiversity in the future.

意欲的かつ現実的な 目標や枠組みの設定 Setting ambitious and realistic targets and frameworks

「転換点」を超えないよう人と自然が共生していくための覚悟を継続し、目標や枠組みを設ける。
We continue the evolution of people in order to live in harmony with nature to prevent us from exceeding the tipping point, and we set targets and frameworks at this conference.

目標の達成のための 行動 Take actions to achieve the target:

生物多様性が、目標達成のために必要な行動を取るために準備する。
A variety of stakeholders must supply the necessary actions to achieve the target.



生物多様性の喪失は
私たちの暮らしを脅かします。
Biodiversity loss threatens our affluent life.



世界で森林面積として平均約5,000万ヘクタールの森林が毎年消失している。
It is known that around 5.2 million hectares of forest is still disappearing every year in the world.
Chris Johns/National Geographic Image Collection

熱帯雨林の上層がヤシの油化を引き起こす。
20世紀末の数十年間で世界のサンゴ礁の約20%が失われたと報告されている。
Coral has been bleached because of rising sea temperatures. About 20% of the world's coral reefs have been disappeared in several decades in the end of the 20th century.



「生物多様性基本法」前文より

人類は生物の多様性のもたらす恵沢を享受することにより生存しており、生物の多様性は人類の存続の基盤となっている。

また生物の多様性は、地域における固有の財産として地域独自の文化の多様性も支えている。

「生物多様性」とは、
社会、経済、文化の基盤であり、

「自然との共生」をしてきた
日本人の精神の基盤とも言える。

「国連生物多様性の10年」の前半を考える

10年かけて奏でるいのちの物語は森から。

2011年 国際森林年



2012年 地球サミット2012 リオ+20開催



2013年 気候変動枠組条約 ポスト京都開始



2014年 持続可能な開発のための教育の10年最終年



2015年 ミレニアム開発目標最終年



国連生物多様性
の10年

大震災からの
復興ポスト311



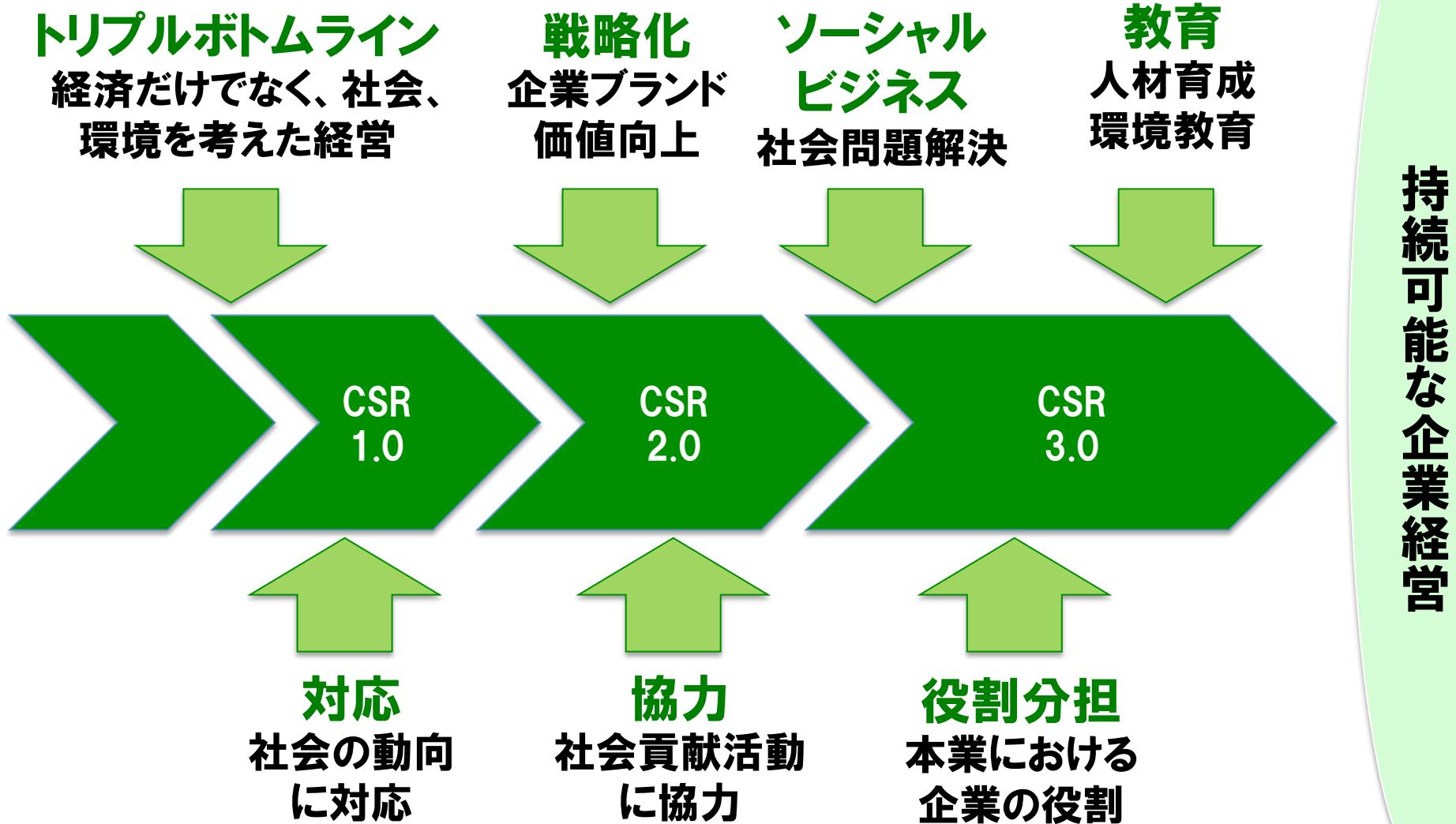
目指す姿はひとつ！
自然の恵みに支えられた持続可能な地域づくり

「国連生物多様性の10年」は3.0の時代

生物多様性の保全は社会的責任であり、
サステナビリティの定着である

CSR3.0
CSV

CSR3.0 いま、CSRは本業で語られる時代



「次世代CSRとESD企業のためのサステナビリティ教育」より

マイケル・ポーター「CSV」

「CSV(Creating Shared Value=共有価値の創出)」

CSRとCSVの違い

CSR

Corporate Social Responsibility



CSV

Creating Shared Value

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| ▶ 価値は「善行」 | ▶ 価値はコストと比較した経済的便益と社会的便益 |
| ▶ シチズンシップ、フィナンソロピー、持続可能性 | ▶ 企業と地域社会が共同で価値を創出 |
| ▶ 任意、あるいは外圧によって | ▶ 競争に不可欠 |
| ▶ 利益の最大化とは別物 | ▶ 利益の最大化に不可欠 |
| ▶ テーマは、外部の報告書や個人の嗜好によって決まる | ▶ テーマは企業ごとに異なり、内発的である |
| ▶ 企業の業績やCSR予算の制限を受ける | ▶ 企業の予算全体を再編成する |
| ▶ たとえば、フェア・トレードで購入する | ▶ たとえば、調達方法を変えることで品質と収穫量を向上させる |

いずれの場合も、法律および倫理基準の遵守と、企業活動からの害悪の削減が想定される

出所：マイケル・E・ポーター、マーク・R・クラマー、「共通価値の戦略」、DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー2011年6月号

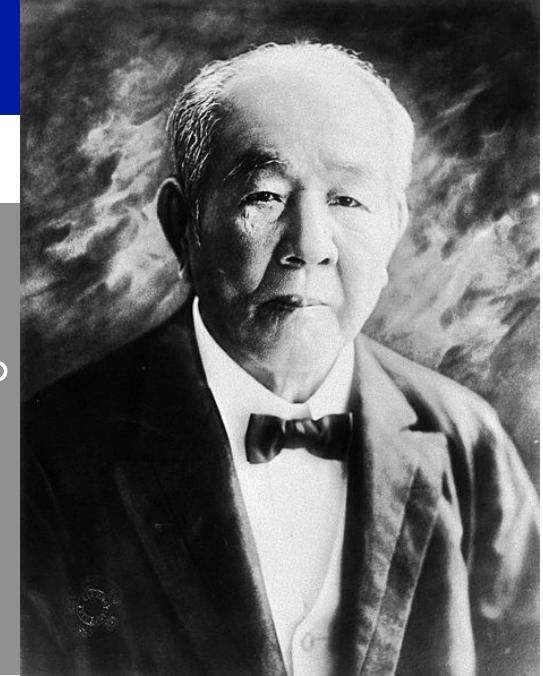
日経ビジネスオンラインより



従来のCSR活動は必ずしも効果的なものではなく、社会に大きな影響を及ぼすには至らなかった。企業は、自社のイメージ向上だけに关心があり、社会にインパクトを与えて実際に社会を変えようと考えていなかった。米ハーバードビジネスレビュー誌の2011年1月・2月合併号に発表した共著の論文『Creating Shared Value』でコンセプトを詳述し、資本主義をどう変えていくのか、企業はどう対応していくべきなのかを考察。

渋沢栄一「道徳経済合一説」

富をなす根源は何かと言えば、仁義道徳。
正しい道理の富でなければ、
その富は完全に永続することができぬ。



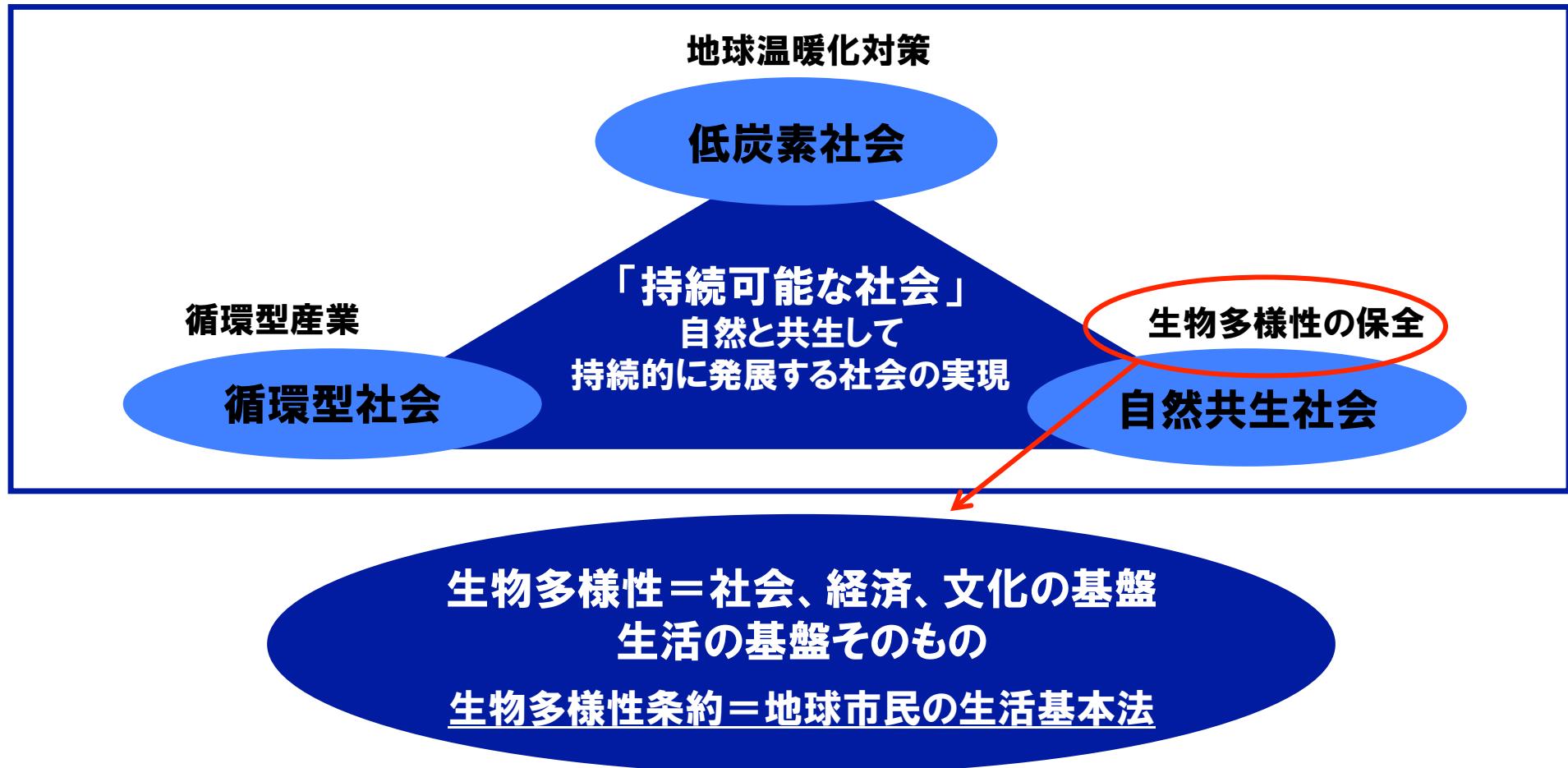
1916年(大正5年)に「論語と算盤」を著し、
「道徳経済合一説」を打ち出した。

幼少期に学んだ「論語」から、倫理と利益の両立を掲げ、
経済を発展させ、利益を独占するのではなく、
国全体を豊かにするために、富は全体で共有するもの、
社会に還元することを説くと同時に自身も心掛けた。

ウィキペディアより

改めて、持続可能な社会について

環境省 環境立国戦略に加筆



「持続可能な社会づくり」

「自然との共生」をしてきた日本人として、
CSRという概念も、
生物多様性という概念も、
精神の基盤として備えているもの。

さらに、
企業も地域の生態系の一部分
である事が見えてくる。

企業と生物多様性の議論の歩み

企業と生物多様性の議論の歩み

企業として考える生物多様性の3つの視点

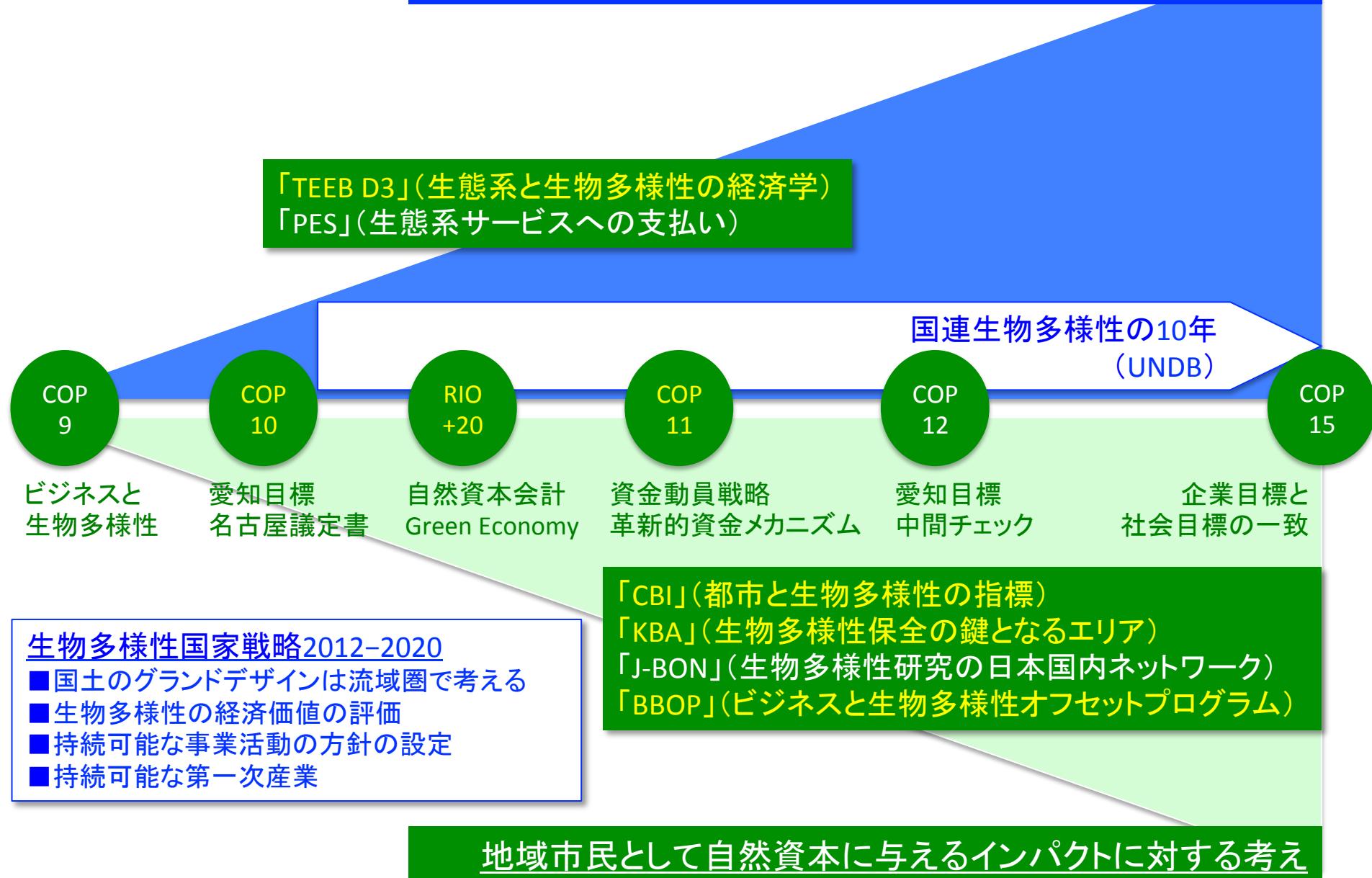
サプライチェーン全体で自然資本に与える負荷

地域市民として自然資本に与えるインパクト

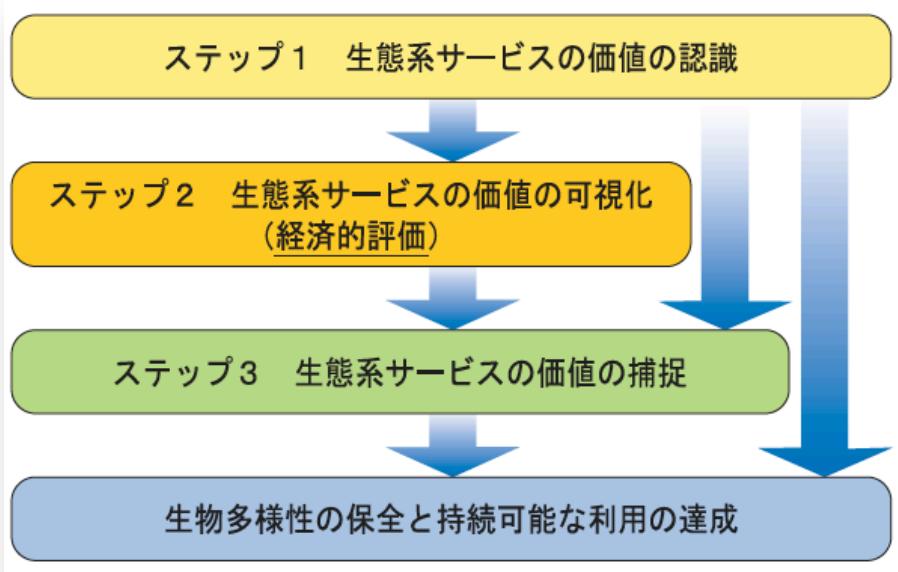
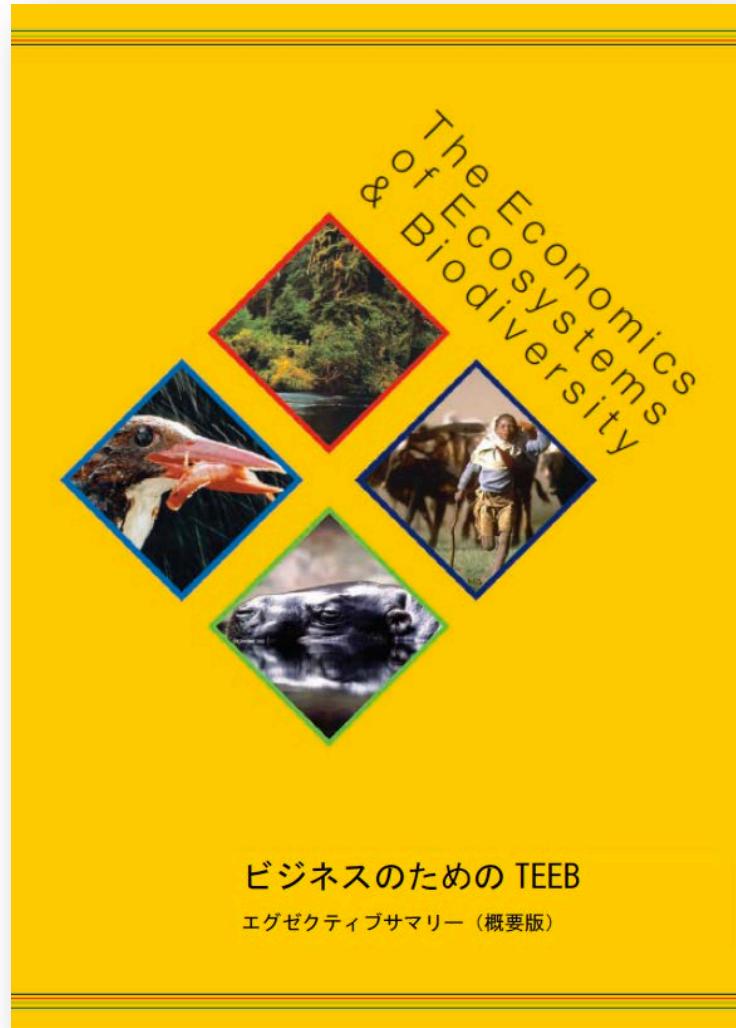
生物多様性の主流化に向けたCEPA

企業と生物多様性の議論の歩み

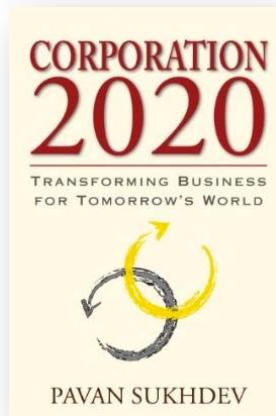
サプライーチェーン全体で自然資本に与える負荷に対する考え方



COP10 TEEB(生態系と生物多様性の経済学)



RIO+20 自然資本会計



1920年の企業の姿

- 規模の追求
- 積極的なロビー活動
- 非倫理的な広告
- 無制限のレバレッジ

2020年の企業の姿

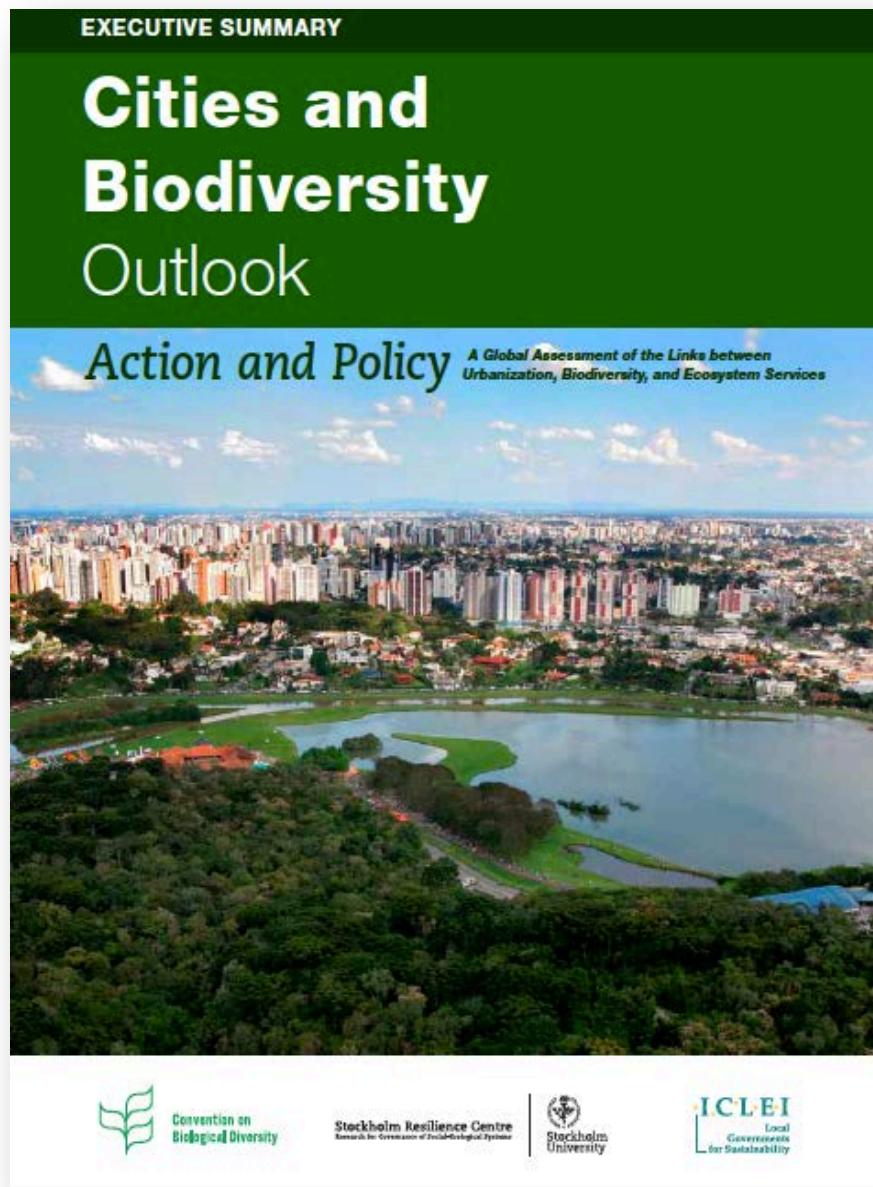
- 企業目標を社会目標と一致させる
- 社会、人的、自然資本を創出
- 教育機関であれ
- コミュニティを創出

スローガンは、“Nature Protects if She is Protected”
(自然が守られれば、自然が守ってくれる。)



ハイレベルセグメント・オープニングで、ナタラジヤン・インド環境森林大臣は、何度もCEPA(コミュニケーション、教育、普及啓発)を口にした。インドのような自然資源の宝庫である新興国には[CEPA]が欠かせない。

CBI(CBO) 都市と生物多様性



都市は、ますます責任が重くなる。CO₂排出抑制、水と食料の安全、開発問題、そして愛知ターゲット。

この白書は、土地利用、都市計画、緑地の重要性を伝えるために、10のキーメッセージを作成。研究者100人以上が取り組んだ、生物多様性の新しい課題のスタートキット。

生態系の保全だけでなく、健康的で豊かな都市生活のためにも重要、政策、社会システム、CEPAを考え、各国はレポートを作るだろう。
(ディアスCBD事務局長)

BBOP 一企業と生物多様性のオフセットプログラム

生物多様性オフセットに関する
BBOPスタンダード



BBOP
Business and Biodiversity
Offsets Programme



生物多様性オフセットの設計・実施に関する
BBOPの原則への適合性を判定するためのツール

東北大学生態適応GCOE翻訳資料より

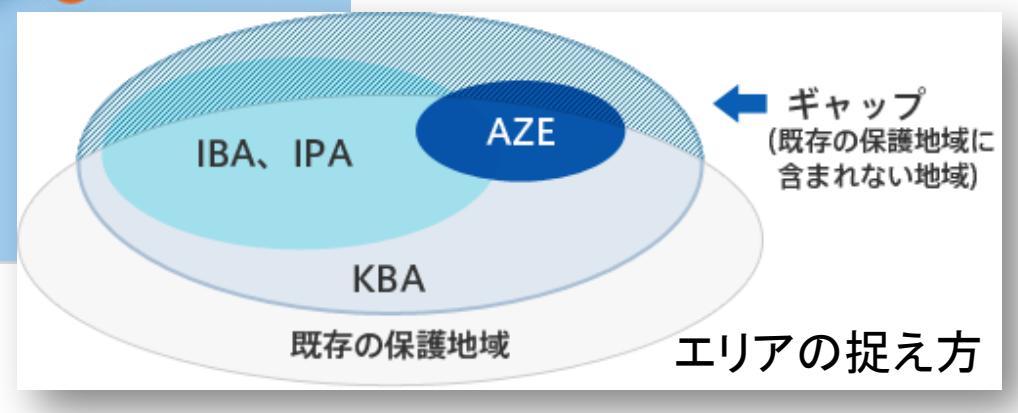
BBOPスタンダードは、生物多様性オフセットの審査を行う人、オフセットを行う事業者、保全団体、地域コミュニティ、政府、金融機関が、定められた原則・基準・指標にしたがって生物多様性オフセットを評価する際の手助けとなることを目的とする。

KBA Key Biodiversity Area 一生物多様性の重点エリア



日本のKBAは228か所、総面積は国土の17%(64,000km²)。しかし、KBAの総面積の約半分(国土の8%である3万km²)が既存の保護地域の外にある。現在国土の約20%が保護地域に指定されているが、KBAを全てカバーするためには、国土の27%を保護する必要がある。

KBAは危機性と非代替性を指標とした国際標準的な手法により選定された重要エリア。



KBA Key Biodiversity Area 一生物多様性の重点エリア

現在、千葉県で指定されているエリア



97. 霧ヶ浦・北浦 (Kasumigaura-Kitaura)

面積 (ha)	自治体	保護地域	基準					
			CR	EN	VU	RR	A3	A4
80,479	千葉県香取市、茨城県かすみがう、茨城県土浦市、茨城県小美玉市、茨城県潮来市、茨城県石岡市、茨城県神栖市、茨城県稻敷市、茨城県稻敷郡美浦村、茨城県稻敷郡阿見町、茨城県行方市、茨城県鉾田市、茨城県鹿嶋市	水郷筑波国定公園	1	4	1	-	2	4

100. はきだし沼 (Hakidashi Pond)

面積 (ha)	自治体	保護地域	基準					
			CR	EN	VU	RR	A3	A4
20	千葉県野田市	-	-	1	-	-	-	-

101. 利根川下流域 (Tonegawa Floodplain)

面積 (ha)	自治体	保護地域	基準					
			CR	EN	VU	RR	A3	A4
4,077	千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県香取郡東庄町、茨城県神栖市、茨城県稻敷市	-	1	2	1	-	1	2

102. 九十九里浜 (Kujukuri Coast)

面積 (ha)	自治体	保護地域	基準					
			CR	EN	VU	RR	A3	A4
2,401	千葉県匝瑳市、千葉県山武市、千葉県山武郡九十九里町、千葉県山武郡大網白里町、千葉県山武郡横芝光町、千葉県旭市、千葉県長生郡一宮町、千葉県長生郡白子町、千葉県長生郡長生村	九十九里浜県立自然公園	-	-	-	-	-	1

103. 房総丘陵 (Springs and paddies in Boso Hills)

面積 (ha)	自治体	保護地域	基準					
			CR	EN	VU	RR	A3	A4
23,379	千葉県いすみ市、千葉県勝浦市、千葉県君津市、千葉県夷隅郡大多喜町、千葉県夷隅郡御宿町、千葉県市原市、千葉県鴨川市	県立養老渓谷奥清澄自然公園	1	-	2	-	-	-

104. 東京湾 (Tokyo Bay)

面積 (ha)	自治体	保護地域	基準					
			CR	EN	VU	RR	A3	A4
15,872	千葉県千葉市中央区、千葉県千葉市美浜区、千葉県富津市、千葉県市原市、千葉県市川市、千葉県所属未定地、千葉県木更津市、千葉県浦安市、千葉県習志野市、千葉県船橋市、千葉県袖ヶ浦市、東京都品川区、東京都大田区、東京都江戸川区、東京都江東区、東京都港区、神奈川県川崎市川崎区、神奈川県横浜市金沢区、神奈川県横須賀市	-	-	1	-	-	-	10

CEPA! Main Streaming 地球市民の共通目標

愛知ターゲットとは

生物多様性を守るために
今後10年間の方向性

COP10の最大の成果の一つが「生物多様性条約戦略計画2011-2020（通称、愛知ターゲット）」です。
これは、生物多様性条約の今後の方向性を定めたもので、2020年までに達成すべき20の目標を定めています。

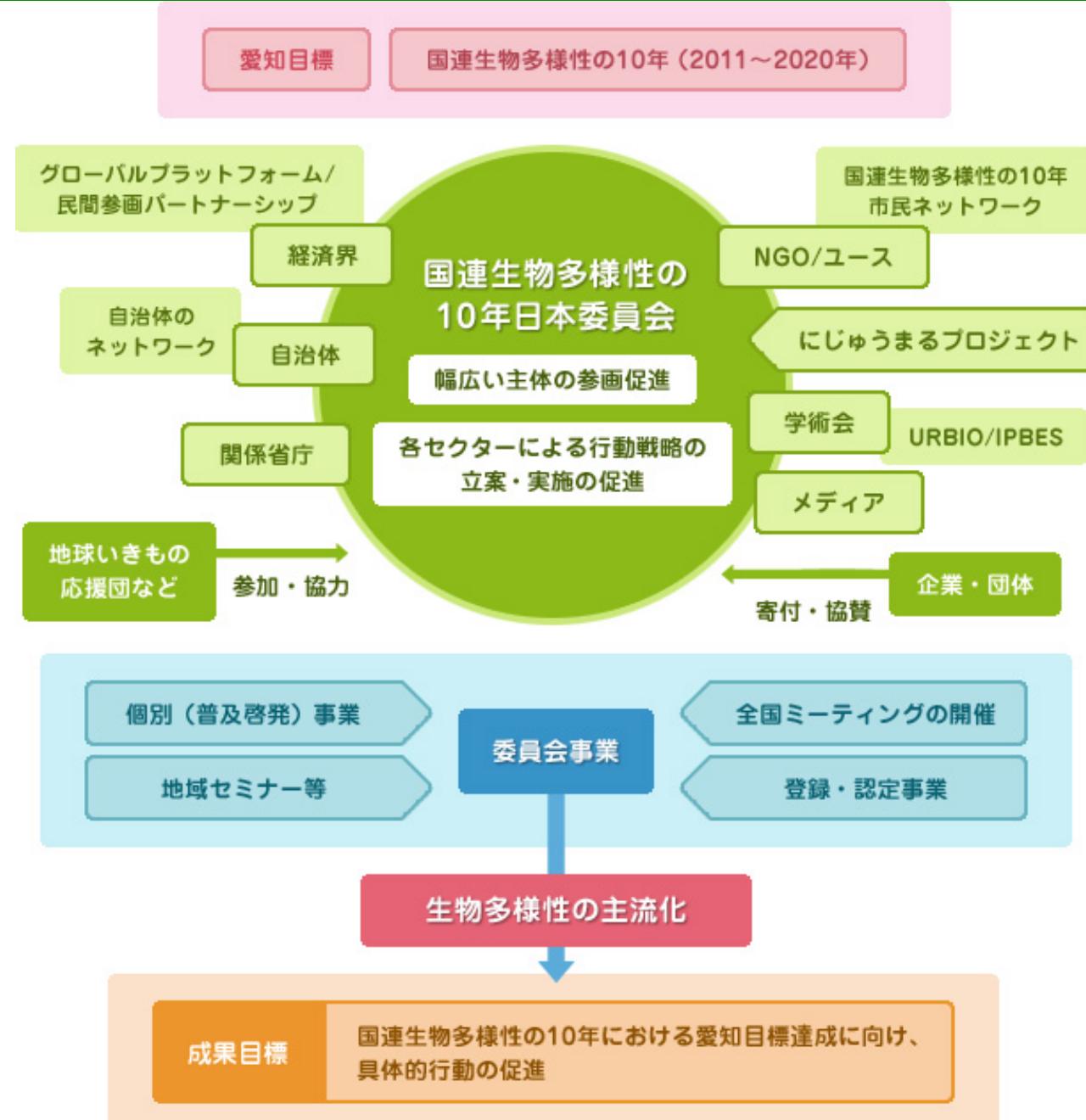
2050年までに自然と共生する社会の創造を目指しながら、2020年までに生物多様性の意味と価値を全ての人が理解し、社会の常識となり、生物多様性の損失を止め、回復力のある生態系を確保する。



IUCN-Jは愛知ターゲット実現に向けて
「にじゅうまるプロジェクト」を進めています。



CEPA! Main Streaming 一多くのセクターが集まる国内委員会一



CEPA! Main Streaming 一生物多様性5つのアクション・ツールー

こくれんせいぶつようせい
国連生物多様性の10年日本委員会
生物多様性を守るために、私たちにできるアクション!
マイ こうどうせんげん
MY行動宣言

生物多様性とは、たくさんの生きものがつながりあって暮らしていること。
生物多様性を守るためには、まずは暮らしの中で、生きものとのつながりを感じることが大切。水や空気はもちろん、食べものや着るもの、木材、薬の原料など、いろいろな生きもののおかげで、私たちは生きています。

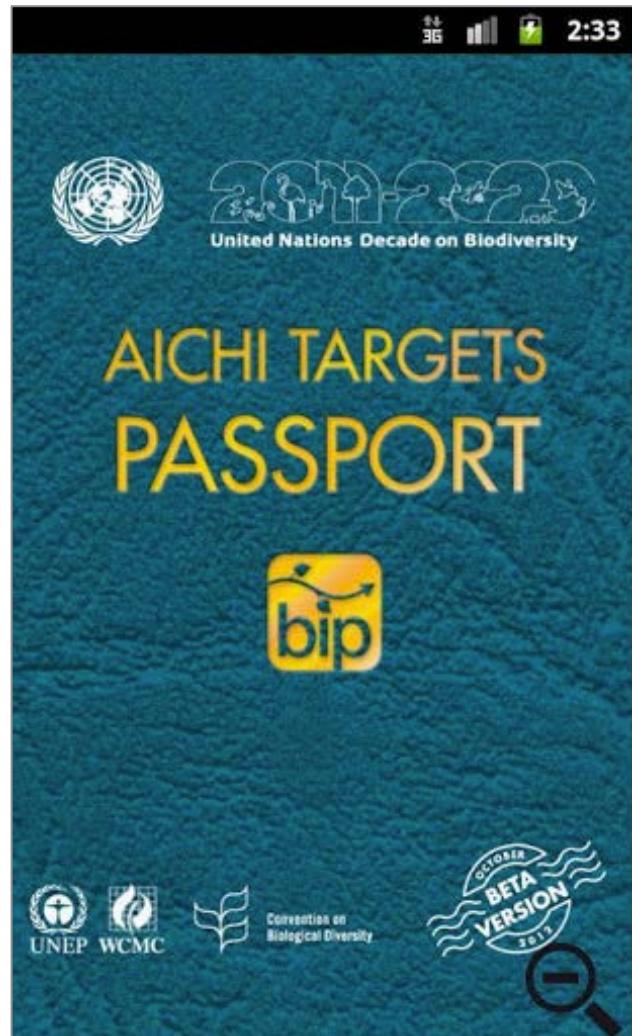
次の5つの中からあなたにできることを選んで「MY行動宣言」しましょう。
生物多様性の恵みを受け続けられるように、一人ひとりが「MY行動宣言」をして、今日から行動しましょう!

チェックしてね!

Act 1	じ もと たべよう 地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。	<input type="checkbox"/>
Act 2	なま かれよう 生の自然を体験し、動物園・植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。	<input type="checkbox"/>
Act 3	しづか つたえよう 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。	<input type="checkbox"/>
Act 4	まもろう 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。	<input type="checkbox"/>
Act 5	えらぼう エコマークなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。	<input type="checkbox"/>

一般社団法人CEPAジャパン制作(監修:矢原徹一九州大学教授)

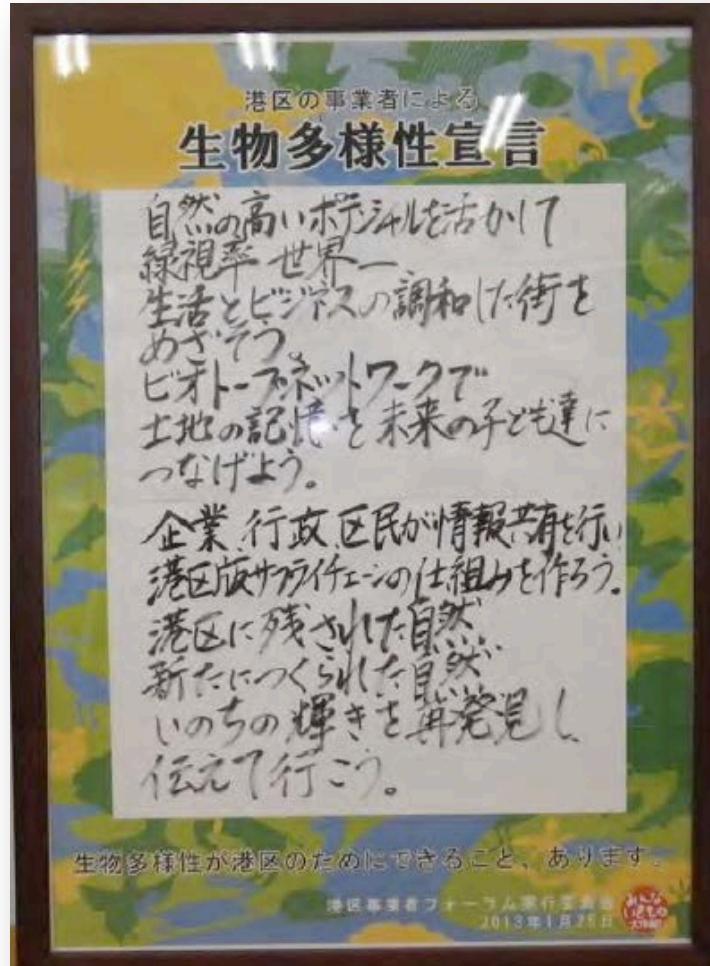
CEPA! Main Streaming 一愛知目標パスポート・アプリ！一



BIP(生物多様性指標パートナーシップ)が開発(無料ダウンロード)

【自治体事例】 港区

【自治体事例】一港区一 あつまれ事業者！港区の生物多様性フォーラム



生物多様性が港区のためにできること、あります。

- 来賓挨拶 環境省、港区

- 基調講演

東京スリバチ学会 石川初「港区の地形と自然」

- スペシャルインタビュー

赤坂氷川神社 祢宜 恵川義浩 「自然崇拜と神社」

- 3ピーストーク+現場からのSkype中継

大林組、カワセ印刷、東芝、NEC、
森ビル、青山商店会連合会

- テーマ別のグループディスカッション

- 港区の事業者による生物多様性宣言 & 提言

- 閉会挨拶 みなと環境にやさしい事業者会議
(司会:文化放送アナウンサー石川真紀)

【主催】港区事業者フォーラム実行委員会

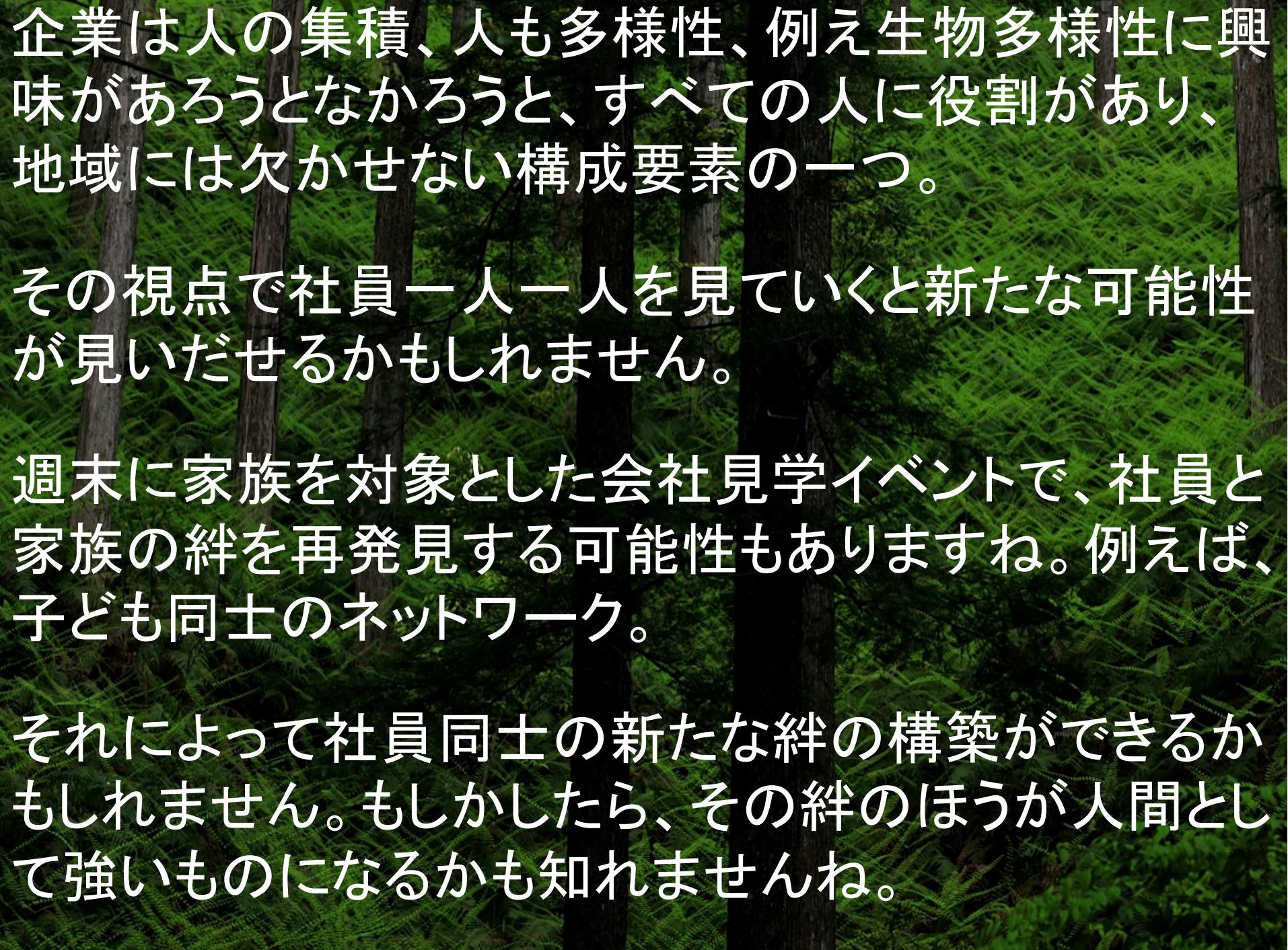
【共催】港区環境リサイクル支援部環境課

【協力】株式会社文化放送、株式会社博報堂、

みなと環境にやさしい事業者会議、

一般社団法人CEPAジャパン、WWFジャパン



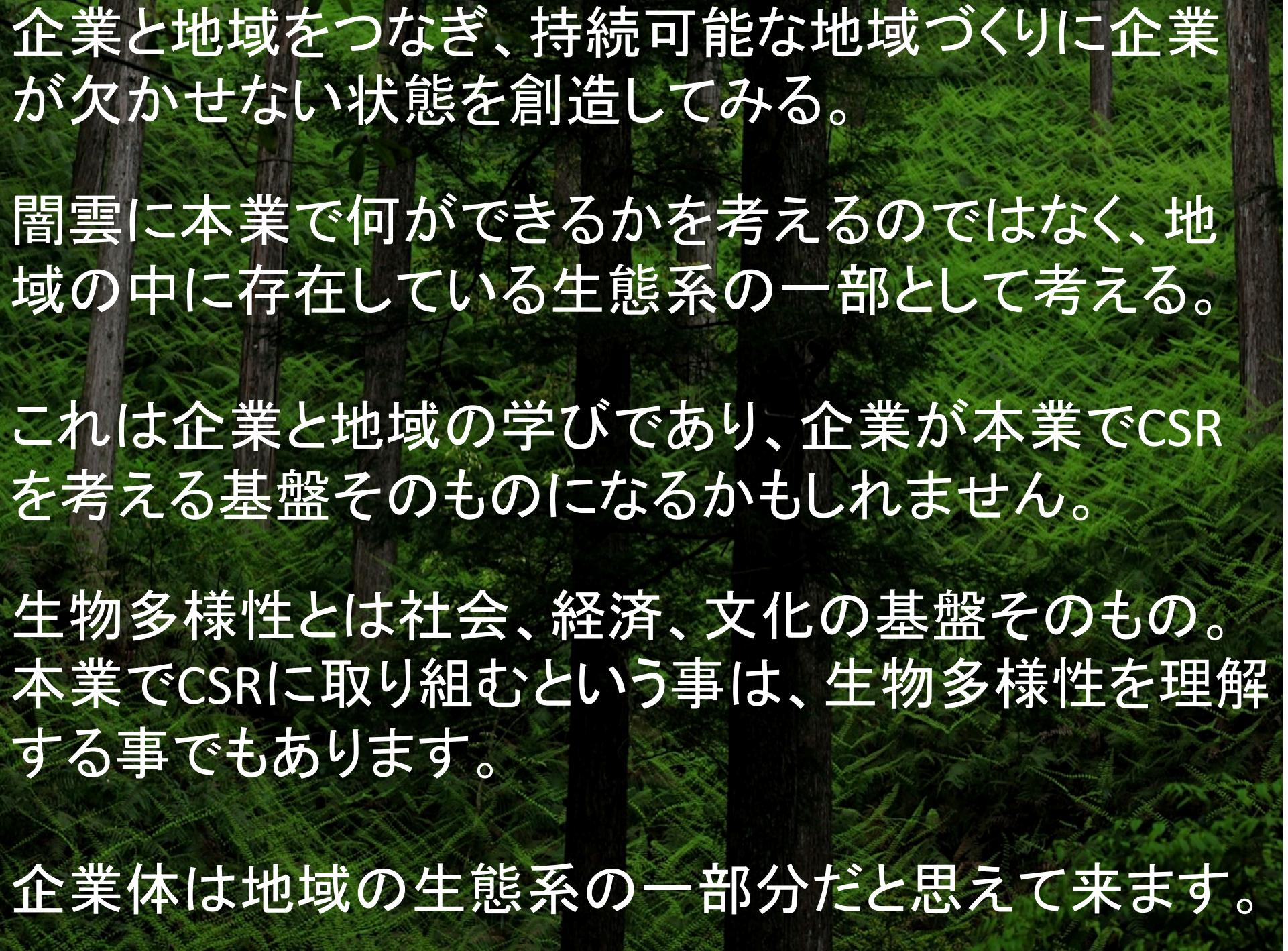


企業は人の集積、人も多様性、例え生物多様性に興味があろうとなからうと、すべての人に役割があり、地域には欠かせない構成要素の一つ。

その視点で社員一人一人を見ていくと新たな可能性が見いだせるかもしれません。

週末に家族を対象とした会社見学イベントで、社員と家族の絆を再発見する可能性もありますね。例えば、子ども同士のネットワーク。

それによって社員同士の新たな絆の構築ができるかもしれません。もしかしたら、その絆のほうが人間として強いものになるかも知れませんね。



企業と地域をつなぎ、持続可能な地域づくりに企業が欠かせない状態を創造してみる。

闇雲に本業で何ができるかを考えるのではなく、地域の中に存在している生態系の一部として考える。

これは企業と地域の学びであり、企業が本業でCSRを考える基盤そのものになるかもしれません。

生物多様性とは社会、経済、文化の基盤そのもの。本業でCSRに取り組むという事は、生物多様性を理解する事でもあります。

企業体は地域の生態系の一部分だと思えて来ます。

千葉県の魅力



県立印旛手賀自然公園 印旛沼



南房総国定公園 勝浦海中公園付近



千葉県企業活動と生物多様性への取組みに関する検討会



第1回11月15日
第2回12月18日
第3回 1月18日

ありがとうございました。

企業と生物多様性セミナー
生物多様性ちば企業ネットワーク

